

-月日 (校時)	単元名	教材名
11月26日(月) (4校時)	どんな計算になるのかな	たし算やひき算のお話を考えよう
本時のねらい (本時 2/2) ○加法や減法を適用して問題を解決することを通して、演算を決定する能力を伸ばす。		
評価規準 技 キーワードを使って問題文を考え、適切な立式をして解決することができる。(観察・ノート)		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
【導入】 11:15	・前時の振り返りをする。(ぶつぶつタイム)	・さし絵を見て問題文を完成させ、立式したことを降り返らせる。
問題提示 11:18 課題把握 11:23 ・シラバス ・言語わざ ・見通し 11:28 自力解決 11:33 集団解決 ・ペア学習 11:35 ・全体学習 ・考察 11:50 まとめ	1 問題(さし絵)を見る。 ○絵を見て分かってどんなことが分かりますか。 ・すずめが下に9わ、上に6わいます。 ・たしざんの問題ができます。 ・ひきざんの問題もできそうです。 2 課題を確認する。 えをみて、たしざんやひきざんのもんだいをつくろう。 《1人でチャレンジ(5分)・ペア学び(2分)・全体学習(15分)・まとめ(6分)・適用問題(6分)・振り返り(3分)》言語わざ：キーワードを使う ○問題をつくる時にどんな言葉や数字をおさえておかないといけないでしょう。 「ぜんぶで」「あわせて」「ちがいは」のこりは「どちらが○わおおい」 6わ・・・とんでいる 9わ・・・下にいる 3 さし絵を見て問題をつくる。 ・すずめが15わいます。6わとんでいくとのこりはなんわですか。 ・すずめが9わいます。6わとんでくると、ぜんぶでなんわになりますか。 ・すずめが15わいます。じめんに9わいます。とんでいったのは、なんわですか。 4 ホワイトボードを使って、問題文について説明する。 ○絵を見て考えた問題を言葉やホワイトボードを使って説明しましょう。 ○考えた問題から、問題をつくる時にどんなことに気をつけたらよいかを発表しましょう。 ・分かっている数字を入れる。 ・たしざんかひきざんか分かるようにキーワードをつかう。 たしざん：「あわせて」「ぜんぶで」 ひきざん：「ちがいは」「のこりは」どちらがいくつおおい 5 学習のまとめをする。 たしざんやひきざんのもんだいをつくるには、わかっているすう字とたしざんやひきざんのキーワードをつかってつくる。	・さし絵を見て問題をつくることに気づかせる。 ・これまでの学習を基にして見通しを持たせる。 キーワード 「あわせて」「ぜんぶで」「ちがいは」「のこりは」「どちらがどれだけおおい」 ・自力解決が進みにくい児童には、近くの児童にヒントをもらってよいことを伝える。 ・ホワイトボードに図をかいたり、ブロックを使ったりして、説明ができるようにする。 技 キーワードを使って問題文を考え、適切な立式をして解決することができる。(観察・ノート)
【終末】 ふりかえり 12:15	6 学習したことを振り返る。 7 適用問題に取り組む。 ○さるのさし絵を見て問題をつくろう。	・できるようになったこと、分かったこと、友だちから学んだことを記述させる。